

# 小早祥一郎の そうじの力 だより

第68号



## 活動報告

### 小河原建設環境整備プロジェクト

#### 現場に魂を込める

#### 仮設トイレで済ませない

東京の注文住宅建築の㈱小河原建設で、環境整備強化のお手伝いをしています。

同社にとって、建築現場は、お客様に価値を提供する源泉です。その建築現場の環境整備の強化を進めています。

同社は以前から環境整備に取り組んでいるため、建築現場も業界水準からすれば、かなりきれいな方です。

しかし、私が最初に視察に訪れた現場では、ゴミや釘、針金などが少数ですが落ちていたのが気になりました。整地されればそれらが見えなくなるのかも知れませんが、お施主さんからすれば、自分の敷地の下に、釘などが埋まっているのは気持ちの良いものではありません。

マグネットキャッチャーを使い、現場の内外に落ちていたものを、徹底的に拾うように指示をしました。

また、現場には仮設トイレが設置されていますが、整地が済んでいないため、どうしても泥で汚れてしまいます。現場監督には、必ず仮設トイレをきれいにそうじするように言いました。

実は今までも、現場監督はちゃんとトイレそ



磨いた仮設トイレ

うじをしていたのです。しかしそのやり方を聞いてみると、柄付きブラシでザツとやるだけ。事務所のトイレをそうじする際には、ちゃんと素手でピカピカにするのに、なぜ現場の仮設トイレは柄付きブラシでザツと済ませますのか。

そこに、「あくまでも『仮設』だから」という意識があるように思うのです。

しかし、お施主さんにとってその物件は、仮設でも何でもありません。ただ一つの「我が家」なのです。

さっそく社長みずからが素手でスポンジを使ってそうじをしたところ、便器がピカピカに輝きました。

こうしてトイレがきれいだと、実際に工事をする大工さんたちも、気持ちが良い、丁寧な仕事ができるはずですよ。

別の現場では、敷地の周辺にゴミが落ちていたのが気になりました。もちろんそのゴミを落としたのは関係者ではありません。我々がその周辺の美化に義務を負っているわけでもありません。

しかし、その現場を預かる者として、向こう三軒両隣をきれいにするのは、むしろ当たり前だと思うのです。

さっそく社員さんたちが、周辺のそうじをしてくださいました。

家は、あくまでもその地域の中に存在しています。周辺地域が輝けば、当然その家も輝くでしょう。



現場周辺をそうじする社員

現場の環境整備に共通して言えることは、いかにその現場に「魂」を込められるか、ということだと思います。

## おそうじ技術紙上講座 書類の捨て方

### ほとんどの書類は実は不要

### 「思い込み」と「思い出」を捨てる

環境整備を進める中で、必ず聞こえてくるのが「書類が捨てられなくて困っている」という声です。

書類に限らず、モノを整理する際に準備すべき基準は、「使える」「使えない」かで判断せずに、「使う」「使わない」かで判断する、ということですよ。

書類の整理の際には、以下のようなポイントで見ても構いません。

### 一年以内に使ったかどうか

ほとんどの業務は、一年単位で動いています。したがって、過去一年間にさかのぼって読んだことのないような書類は、まず要らないと判断して良いでしょう。

### 他で入手不可能か

社内の書類の場合、誰かがその書類を持っているはずですよ。少なくとも、その書類を作成した本人は、原本を持っているでしょう。ならば全員がそれを持っている必要はありません。

また、近年は多くの情報がネット上で得られるようになってきました。特にメーカーのカタログ類や国や地方自治体の案内などは、ネット上の情報の方が最新で正確、ということが少なくありません。これらを、あえて紙類で持つておくのはかえってナンセンスになります。

### 最新版か

業界紙や専門誌などのバックナンバーを、大事に取っておく人がいます。しかし、新聞や雑誌は鮮度が勝負。



2005年版の本

古い号は、すでに情報の興味期限が切れているといつてよいでしょう。

同様に過年度版の専門的なガイド類を持っている人もいますが、最新版のみにすべきでしょう。すでに内容が変わっていて、使い物にならない、という可能性が大です。

### お客様情報か

一般的な情報か、特定のお客様に関する情報か。一般的な情報はネットなどでいくらでも入手する手段がありますが、お客様情報は他で入手が難しいものですから、取っておいた方がよいでしょう。

### 中身を見ずに分かるか

引き出しの中を整理していて、封筒が出てきた。しかし、その封筒に何が入っているか分からない。このようなことはよくあります。中身が分からないということ、この書類が使われていないものだと判断できます。思い切って、中身を捨ててしましましょう。



整理前



整理後

整理をした後の感想を聞くと、「要るもののだと思いついていたが、実は要らないもののだと分かった」「自分では十分に捨てたつもりだったが、他の人に見てもらったと、まだ要らないものがたくさんあった」「過去の思い出を大事に取っておいてあるだけだと分かった」などが出てきます。書類の整理を進めていくと、無駄なものが見えなくなります。

# おそうじ先進企業訪問

## 大里綜合管理

「社員教育と販促と地域貢献は一体」  
「恐るべき社長の信念」

千葉県大網白里町にある大里綜合管理  
様は、家主不在時の別荘地の管理を請  
け負っている社員五十人ほどの会社です。  
環境整備に熱心に取り組んでいる、と  
いう噂を聞き、仲間とお邪魔しました。

「単なる見学でなく、体験実習をさせ  
て欲しい」との私たちの要望に応じて、  
野老(ところ)真理子社長が、「ガードレ  
ール磨きに行きましょう」と言います。

最初に聞いた時には、「へ？」と思いま  
した。そもそも、ガードレールを磨く、  
という発想がありません。

しかし考えてみれば、ガードレールと  
いうものがなければ、車も歩行者も困っ  
てしまいます。でもそのガードレールを  
誰がきれいにするのか、と言えば、誰も  
しません。ならば「自分たちがきれいに  
すればいいじゃないか」という発  
想です。

同社の社員さ  
んに教えてもら  
って、慣れない手  
つきでガードレ  
ールを磨かせて  
もらいました。



ガードレール磨き

見ると、ガードレール表面にはびっし  
りと黒い汚れがついています。ところど  
ころ、錆びてもあります。ナイロンたわし  
に水をつけて軽く磨くと、驚くほどきれ  
いに元の白い姿が見えてきました。

頃は一月の中旬。寒風吹きすさぶ中で、  
手がかじかみ、感覚がなくなってきました。  
正直、大変につらい作業でした。同  
驚いたことに、このつらい作業を、同

社のある若手社員は、毎朝四時台に起き  
て、黙々と毎日続けているのだそうです。  
翌朝は、最寄駅での階段磨きから始ま  
ります。「階段磨き？」これも私の発想に  
はありませんでした。



駅の階段磨き

次に、最寄駅の  
自転車置き場で、  
自転車の整頓で  
す。同社の社員さ  
んたちが作業を  
始めると、地域の  
住民の方々が  
次々とやってきて、一緒にやるのです。  
その他にも、駅前の交通整理や、学校  
の生徒たちのための横断歩道誘導など、  
実に百五十もの地域貢献活動をされてい  
る、とのこと。

同社の経営計画書には、地域貢献のペ  
ージに「住民一人一貢献」と目標値が書  
かれています。

すでに、「わが社」という枠を超えてし  
まっているのです。

なぜこれほどまでに環境整備や地域貢  
献活動に熱心に取り組んでいるのか。野  
老社長によれば、それはある痛ましい事  
故を引き起こしてしまった反省から始ま  
った、と言います。

このような事故を防ぐためには、「気づ  
き」を高めていくしかない。「気づき」を  
養うためには環境整備だ、ということ  
を取り組み始めたとのこと。

ただ、きっかけはどうあれ、ここまで  
深めていくこと、極めていくことは容易  
なことではありません。

「社員教育と販促と地域貢献は一体な  
のです」と野老社長は言います。

「気づきを養う」「地域を盛り立てる」  
ことにおける野老社長の強い信念をこそ、  
私たちは学ぶべきなのでしょう。

# お知らせ

## ◆第五回 経営計画コンベンション

「志ある経営」を目指して一緒に勉強  
する仲間による、経営方針のプレゼンテ  
ーションの場です。

本コンベンションの目的は、まず経営  
計画書を作成すること。そして、発表す  
ることで、自分自身の  
決意が固まり、他人の  
発表を聞くことで、そ  
の考え方や取り組み  
を参考にすることが  
できます。

応援してくれるオ  
ブザーも歓迎し  
ます。遠方の方にはホ  
テルをご紹介します。



昨年の発表風景

日時：四月六日(水)九時～十二時  
場所：高崎市産業創造館

対象者：経営者、後継者、起業志望者  
参加費：三五〇〇円(昼食代込)

## ◆創業道場(原則毎月開催)

対象者：経営者、後継者、起業志望者  
日程：三月二日(水)、五月十一日(水)、  
六月一日(水)、七月六日(水)、  
九月七日(水)、十月五日(水)、  
十一月二日(水)、十二月七日(水)

内容：六時～七時半  
環境整備実習(北三公園他)  
七時半～九時 朝食会  
九時～十時 良書輪読会  
十時～十二時 経営計画書に  
基づく実践発表と意見交換  
(高崎市産業創造館)

参加費：無料(食事代等は実費)  
参加費：無料(食事代等は実費)

## ◆北三公園トイレそうじ

日時：三月二日(火)六時～七時

# 株式会社おそうじの力

「環境整備を核とした経営改革の支援」  
講義、プロジェクトチームミーティン  
グ、体験実習(トイレそうじ、倉庫内不  
要物撤去、工場内機械磨き、洗車、書類  
の整理整頓、周辺地域清掃など)を通じ  
て、社員の意識改革を図り、健全な企業  
風土作りをお手伝いします。

現状調査(診断)やご相談は無料です。  
お気軽にお問合せください。

## 編集後記

### ◆ちよっと憑つたかたてる?

「明日は全線開通したばかりの青森新  
幹線に乗るの?」と、妻が聞きます。

私「へ?だって明日は茨城だよ」  
妻「だって、イタコでしょ。恐山って、  
青森じゃなかったっけ?」

私「お、ザツライト。恐山は確かに  
青森だが、イタコはイタコでも、今回  
は茨城県の潮来(いたこ)市。別にお  
じいちゃんの霊にお告げを聞きに行  
くわけじゃないから。」

妻「・・・」  
イタコへの出張が増えそうです・・・

そうじの力だより第 68 号

2011年3月1日発行

発行者：小早 祥一郎

(株)そうじの力 代表取締役

連絡先：〒370-0078

群馬県高崎市内小鳥町 373-6

TEL&FAX：027-315-2334

携帯電話：090-3906-3906

メール：kohaya@gmail.com